



NEDO洋上風力発電システム実証研究（福岡県）

第64期  
中間期 株主通信

平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日

その先の向こうへ

GOING FURTHER

 五洋建設株式会社

証券コード：1893

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに平成25年4月1日から平成25年9月30日までの、平成25年度（第64期）第2四半期の事業概要ならびに今後の見通しにつきまして、ご報告申し上げます。



代表取締役社長

**村重 芳雄**

### Q 経営環境について お聞かせください。

A 平成25年度第2四半期までの日本経済は、政府の経済対策の効果によって緩やかに回復しており、企業収益の改善によって設備投資にも持ち直しの動きがみられます。世界経済は米国を中心に、全体としては緩やかな回復基調にありますが、中国や新興国の景気の減速や、政府債務問題による欧州経済の不確実性が依然みられるなど、不透明な要素も残っております。

建設業界につきましては、東日本大震災の復興関連予算や補正予算の順調な執行などにより、公共投資は増加を続けております。住宅着工戸数の増加や民間設備投資の持ち直しなども加わり、建設投資は堅調に推移しました。

### Q 第2四半期の連結業績について お聞かせください。

A 売上高は、手持工事が順調に進捗したことにより、前年同期比で11.5%増加し、1,852億円となりました。売上高の増加に伴って売上総利益が増加したことなどにより、営業利益は43億円（前年同期比76.6%増）、経常利益は34億円（同68.4%増）、四半期純利益は16億円（同454.5%増）となりました。

### Q 受注の状況は いかがでしょうか。

A 個別の建設受注高は、国内土木事業740億円（前年同期比111億円増）、国内建築事業1,175億円（同705億円増）、海外建設事業441億円（同238億円増）、全体で2,357億円（同1,055億円増）

となりました。国内建築事業における大型工事の受注や消費税前の駆け込み需要、海外建設事業における大型工事の受注などが寄与し、前年同期と比べて大幅に増加しました。

## Q 今後の見通しについて お聞かせください。

A 平成25年度の連結業績見通しは、5月13日に公表いたしました当初予想通り、売上高3,570億円、営業利益90億円、経常利益75億円、当期純利益26億円を予定しております。個別の建設受注高につきましては、第2四半期までの個別受注実績の状況を踏まえて、当初予想を修正いたしました。国内土木は当初予想から80億円増加して1,280億円、国内建築は220億円増加して1,420億円、海外は当初予想から変わりなく800億円、合計で当初予想から300億円増の3,500億円を見込んでおります。

国内の建設市場は、政府の経済対策の効果もあり、今後も堅調に推移することが見込まれます。東日本

大震災の復興関連事業、防災・減災対策、国際競争力強化のためのインフラ整備などの事業が執行される見通しです。また、2020年夏季オリンピックが東京で開催されることが先ごろ決定し、今後、各種競技施設や交通施設、宿泊施設などの関連施設整備が進められることが期待されます。海外につきましては、経済の先行きを注視する必要がありますが、当社の主要市場であるシンガポール、香港などの東南アジアでは、港湾、鉄道、道路、ライフラインなどの社会資本整備が、今後も継続的に行われるものと予想されます。

当社は、このような市場動向に適切に対応し、震災からの復興に貢献することはもとより、お客様のニーズ、社会からの要請にお応えすることによって、企業価値を高め、発展する企業グループを目指してまいります。

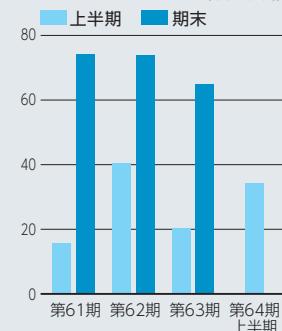
株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【連結業績の推移】

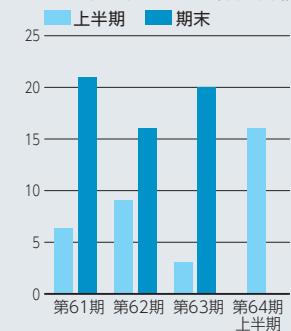
◎売上高 (単位:億円)



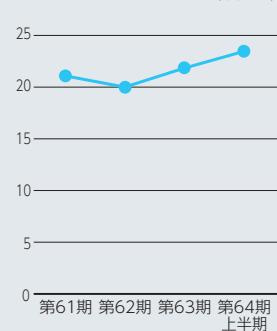
◎経常利益 (単位:億円)



◎四半期(当期)純利益 (単位:億円)



◎自己資本比率 (単位:%)



## 国内初の沖合洋上風力発電プロジェクトへの挑戦

### ■注目される再生可能エネルギーの実現のために

東日本大震災以降、エネルギーの多様化が求められる中、再生可能エネルギーに大きな期待が寄せられています。その中でも洋上風力発電は、発電コストの優位性などから欧州を中心に導入が進んでおり、日本国内でも普及が期待されています。

当社は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が国内で初めて取り組む「洋上風力発電システム実証研究」および「洋上風況観測システム実証研究」の中で、電源開発株式会社からの発注のもと、北九州市沖での洋上風力発電施設の基礎構造設計・製作・据付と風車組立、および洋上風況観測塔の基礎製作・据付、観測塔組立に取り組みました。

### ■洋上風力発電施設建設工事（福岡県）

福岡県北九州市の沖合約1.4kmにある水深約14m地点に、2メガワット級の風車1基と風況観測塔を建設しました。

風車を支える支持構造物には、鋼管と鉄筋コンクリートを併用した「ハイブリッド重力式支持構造物」が採用され、国内最大級の大型起重機船により現地海域に設置しました。

風車組立には、自己昇降式台船（SEP船）を活用し、ジャッキアップすることで波浪の影響を低減させて組立を行いました。また、冬季の施工であったため、当社独自の気象予測システムをさらに高度化し、施工管理に活用しました。

#### 【工事概要】

工事場所：福岡県北九州市若松区響町地先

発注者：電源開発株式会社

工事名称：洋上風況観測システム実証研究に係る風況観測塔基礎および据付工事  
洋上風力発電システム実証研究に係る風車基礎および本体据付工事（Ⅰ期、Ⅱ期）

工期：2011年8月～2013年5月

工事内容：基礎工

基礎捨石	：一式
表面整理（重錐均し併用）	：一式
被覆・根固ブロック製作据付	：一式

本体工

ハイブリッド重力式基礎製作・据付	：一式
観測鉄塔据付	：一式
風車発電設備（2.0メガワット）組立	：一式



洋上風力発電施設



大型起重機船による支持構造物の据付



SEP船を活用した風車組立

## 東日本大震災 復興に向けた取り組み

東日本大震災の発生から2年以上が経過し、大きな被害を受けた沿岸部とともに、内陸部についても被災した施設、建物の復旧・復興が進んでいます。

現在までに、当社は下記の通り、港湾・漁港施設の復旧に加え、内陸部での復旧・復興に向けた土木・建築工事に取り組んでいます。本格的なインフラ復興が今後も継続すると予想され、当社も、一日も早い復興に貢献できるよう引き続き全力で取り組んでまいります。

### ■復旧・復興工事 位置図

- 海上土木工事（港湾・漁港）
- 建築工事・陸上土木工事



#### 【主な工事の概要】

##### マルト東松島工場 (宮城県東松島市)

宮城県石巻市にある老舗の練り製品製造会社「高橋徳治商店」は、東日本大震災により、工場が大きな被害を受けました。応急復旧により生産を再開しましたが、生産量に限界があったため、新工場を近接する東松島市に建設し、2013年7月に完成しました。

高橋徳治商店は、地元で根差した会社として知られています。今後も、地域産業の復興に貢献していきたいと考えています。

##### 主な工事内容

- ・旧工場解体：一式
- ・新工場建設
- 構造：S造1F建
- 延床面積：3,000m<sup>2</sup>



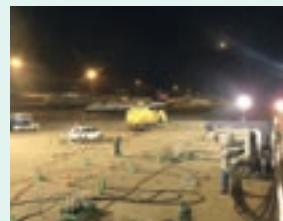
##### 仙台空港エプロン (災害復旧) 地盤改良工事 (宮城県)

臨海部に位置する仙台空港は、東日本大震災による津波により、滑走路に大量のガレキが流れ込みました。しかし、滑走路自体は事前の液状化対策工事の効果により損傷を免れ、自衛隊、米軍による懸命の復旧活動により震災発生5日後の暫定運用開始にこぎつけました。その結果、救援物資の輸送や負傷者の搬送に重要な役割を果たしました。

滑走路の液状化対策工事は、震災前よりすでに実施されており、当工事は、エプロン(駐機場)にも同様に実施したものです。

##### 主な工事内容

- ・地盤改良工事
- 改良土量：13,700m<sup>3</sup>



## 国際部門◆2大拠点 主要大型工事

### ■シンガポールエリア

2013年度上半期、シンガポールで大型港湾工事、隣国マレーシアのジョホール州でマンション基礎工事を受注しました。このほか、シンガポールエリアでは、ジョホール埋立浚渫工事、公営住宅建築工事2件、チャンギ総合病院建設工事などの工事を施工しています。

シンガポール政府は2013年1月、シンガポールの新しい国土利用計画を発表しました。その中で、大規模な港湾整備、埋立による国土拡張、高速鉄道網の整備、良質で低価格な住宅の供給などが主な施策として挙げられています。

今後も、定着したブランドと豊富な施工実績を活かし、シンガポールエリアの継続的発展に貢献してまいります。

### シンガポールエリア手持工事・竣工工事マップ ●土木工事 ●建築工事

#### 【2013年度上半期受注工事】

#### ジョホールマンション基礎工事

- ・工事概要：基礎杭 663本  
掘削土量 66,000m<sup>3</sup>
- ・工 期：2013年7月 - 2014年12月

#### 【2013年度上半期受注工事】

#### チュアス築堤工事

- ・築堤部：延長 5,300m
- ・土 量：7,700,000m<sup>3</sup>
- ・工 期：2013年10月 - 2014年10月



#### NUHメディカルセンター 2013年4月竣工



#### HDBセンカン建築工事 2015年12月竣工予定



#### チャンギ総合病院建設工事 2014年8月竣工予定



## ■香港エリア

香港では、現在、大規模な社会資本整備「10大プロジェクト」が進められています。このプロジェクトは、大規模な都市開発、道路・鉄道整備など数兆円規模のインフラ整備となっており、当社は、7月に完成した国際郵便センター、カイトッククルーズターミナル建設工事、高速鉄道825工区、そして、このたび受注したMTR1102ヒンキン駅舎新築工事など、このプロジェクトに関連する工事を継続的に手がけています。

香港においては、近年、教育施設の建築工事などとあわせ、シンガポールと同様に多くの工事を施工しています。今後も、これまでに培ったノウハウを活かし、香港の社会資本整備に貢献できるよう取り組んでまいります。

### 香港エリア手持工事・竣工工事マップ ●土木工事 ●建築工事



#### 【2013年度上半期受注工事】 MTR1102ヒンキン駅舎新築工事

- ・構造：RC造 地上2階建
- ・工期：2013年7月 - 2018年4月



#### 国際郵便センター 2013年7月竣工



#### カイトッククルーズターミナル建設工事 2013年12月竣工予定



#### ケレットスクール 2013年6月竣工



## ●四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)	科 目	前期末 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成25年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>	<b>296,726</b>	<b>287,832</b>	<b>(負債の部)</b>	<b>231,615</b>	<b>220,074</b>
流動資産	200,642	192,358	流動負債	192,755	178,657
現金預金	50,595	33,691	支払手形・工事未払金等	111,574	104,304
受取手形・完成工事未収入金等	113,699	120,138	短期借入金	39,955	38,401
未成工事支出金等	9,858	10,742	未払法人税等	1,131	836
たな卸不動産	9,727	9,079	未成工事受入金等	17,283	15,110
未収入金	12,019	12,200	引当金	4,726	3,500
その他	5,595	7,361	その他	18,084	16,503
貸倒引当金	△854	△856	固定負債	38,859	41,416
固定資産	96,083	95,424	社債	10,000	20,000
有形固定資産	72,604	72,526	長期借入金	20,984	13,557
無形固定資産	1,127	1,097	再評価に係る繰延税金負債	6,195	6,191
投資その他の資産	22,351	21,801	引当金	870	863
繰延資産	—	49	その他	809	804
<b>資産合計</b>	<b>296,726</b>	<b>287,832</b>	<b>(純資産の部)</b>	<b>65,110</b>	<b>67,758</b>
			株主資本	57,448	58,506
			資本金	30,449	30,449
			資本剰余金	18,386	18,386
			利益剰余金	8,635	9,693
			自己株式	△23	△23
			その他の包括利益累計額	7,632	9,185
			少数株主持分	30	67
			<b>負債純資産合計</b>	<b>296,726</b>	<b>287,832</b>

### 1 総資産・純資産

現金預金の減少などにより、前期末と比較して88億円減少し、2,878億円となりました。純資産は、四半期純利益の計上などにより、前期末と比較して26億円増加して677億円となり、自己資本比率は当第2四半期末で23.5%となりました。

### 2 有利子負債

前期末と比較して10億円増加し、当第2四半期末で719億円となりました。今後も財務体質改善のため有利子負債の削減に取り組んでまいります。

●四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
<b>3 売上高</b>	<b>166,139</b>	<b>185,296</b>
完成工事高	161,324	181,711
開発事業等売上高	4,814	3,584
売上原価	156,285	173,625
完成工事原価	151,070	170,241
開発事業等売上原価	5,214	3,384
売上総利益	9,853	11,670
完成工事総利益	10,253	11,470
開発事業等総利益又は総損失(△)	△399	199
販売費及び一般管理費	7,410	7,353
<b>営業利益</b>	<b>2,443</b>	<b>4,316</b>
営業外収益	855	404
営業外費用	1,268	1,300
<b>4 経常利益</b>	<b>2,030</b>	<b>3,420</b>
特別利益	27	123
特別損失	830	62
税金等調整前四半期純利益	1,227	3,481
法人税、住民税及び事業税	422	672
法人税等調整額	504	1,139
少数株主損益調整前四半期純利益	301	1,668
少数株主利益	6	32
<b>5 四半期純利益</b>	<b>295</b>	<b>1,635</b>

**3 売上高**

手持工事が順調に進捗し、国内土木、国内建築、海外のいずれも前年同期と比較して増加しました。全体では11.5%増加して1,852億円となりました。

**4 経常利益**

売上総利益の増加に伴う営業利益の増加により、前年同期と比較して13億円増加し、34億円となりました。

**5 四半期純利益**

経常利益の増加に加え、特別損失が減少したことなどにより、前年同期と比較して13億円増加し、16億円となりました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
<b>6 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,524</b>	<b>△15,031</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,417	△1,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140	268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173	△194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,207	△16,809
現金及び現金同等物の期首残高	62,712	49,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>56,505</b>	<b>33,117</b>

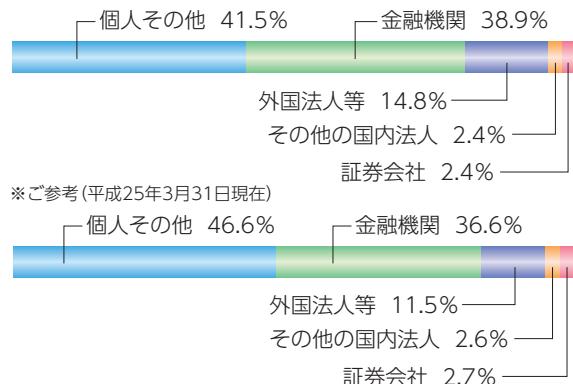
**6 営業活動によるキャッシュ・フロー**

売上債権の増加や仕入債務の減少などにより、150億円の支出超過となりました。

## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 599,135,000株  
 発行済株式の総数…………… 286,013,910株  
 株主数…………… 42,672名

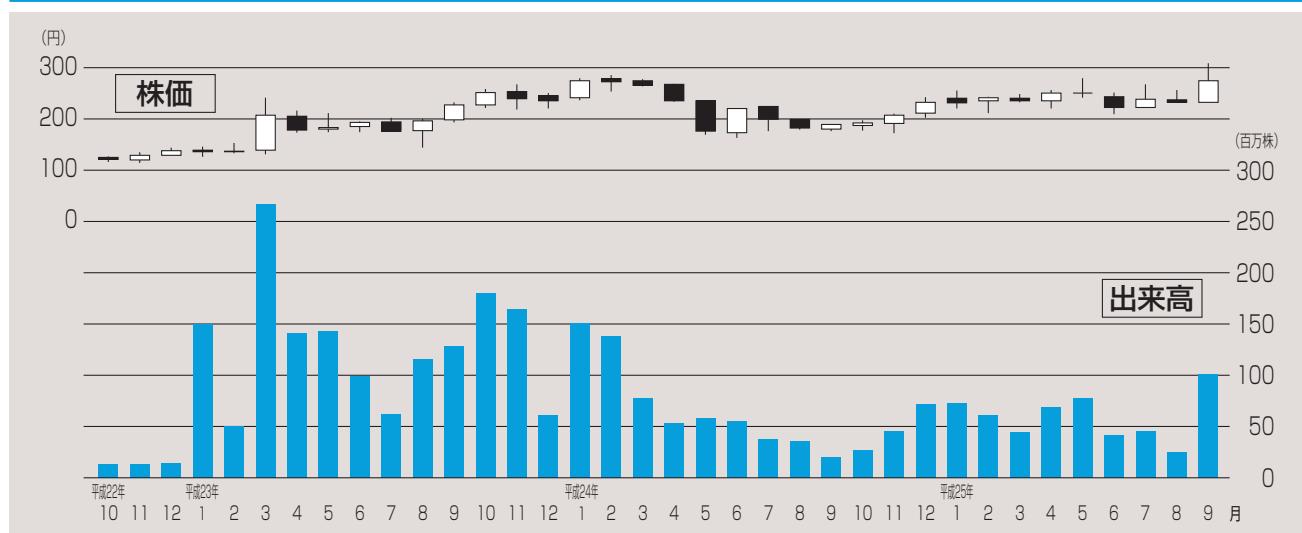
## 所有者別分布状況 (株式数)



## 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	25,399	8.9
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	20,220	7.1
株式会社みずほ銀行	7,059	2.5
ジユニパー	7,039	2.5
明治安田生命保険相互会社	6,656	2.3
株式会社損害保険ジャパン	4,280	1.5
東京海上日動火災保険株式会社	3,934	1.4
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) サブアカウント プリティッシュクライアント	3,928	1.4
みずほ信託銀行株式会社	3,470	1.2
五洋建設従業員持株会	3,410	1.2

## 株価および出来高の推移状況



## 会社概要

商号	五洋建設株式会社 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
設立	昭和25年4月28日
資本金	30,449,952,150円
従業員数	2,427人
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所
会計監査人	新日本有限責任監査法人
主な事業概要	当社は建設業法により特定建設業者（特-24）第1150号として国土交通大臣の許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者（12）第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

## 主要事業所

本店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3816-7111
札幌支店	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F	011-281-5411
東北支店	980-8605	宮城県仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル2F	022-221-0932
北陸支店	950-8501	新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F	025-246-1381
東京土木支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-8890
東京建築支店	102-0074	東京都千代田区九段南4-7-13 市ヶ谷安田ビル6F	03-3817-7600
名古屋支店	460-8614	愛知県名古屋市中区錦3-2-1信愛ビル4F	052-961-6234
大阪支店	530-0012	大阪府大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田ビル新館4F	06-6486-2100
中国支店	730-8542	広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビューグラントタワー7F	082-511-7900
四国支店	790-0011	愛媛県松山市千舟町4-4-3松山MCLビル7F	089-935-5755
九州支店	812-8614	福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル3F	092-475-5000
技術研究所	329-2746	栃木県那須塩原市四区町1534-1	0287-39-2100

## 海外営業所

シンガポール営業所	マレーシア営業所
香港営業所	エジプト営業所
インドネシア営業所	ベトナム営業所

## 取締役

代表取締役社長	村重 芳雄
代表取締役	津田 映
取締役	井田 潔志
取締役	近藤 浩右
取締役	山下 純男
取締役	佐々木 邦彦
取締役	柿本 泰二
取締役	清水 琢三
取締役	中満 祐二
取締役 (社外取締役)	小原 久典

## 監査役

常勤監査役	俵 輝美
常勤監査役 (社外監査役)	樋口 達士
常勤監査役 (社外監査役)	福田 博長
監査役 (社外監査役)	亀山 和則

## 執行役員

※ 執行役員社長	村重 芳雄	
※ 執行役員副社長	津田 映	建築部門長(兼)安全品質環境担当
※ 執行役員副社長	井田 潔志	営業担当(兼)安全品質環境担当(兼)総合監査部担当
※ 専務執行役員	近藤 浩右	土木部門長(兼)技術研究所担当(兼)技術戦略室担当
専務執行役員	岡部 憲一	土木部門担当
※ 専務執行役員	山下 純男	建築部門建築営業本部長(兼)購買部担当
※ 専務執行役員	佐々木 邦彦	経営管理本部長(兼)CSR推進室長
専務執行役員	望月 常好	土木部門担当
※ 専務執行役員	柿本 泰二	国際部門長
※ 専務執行役員	清水 琢三	土木部門土木営業本部長
常務執行役員	中 伸好	建築部門担当
常務執行役員	河内 政巳	土木部門土木本部長(兼)安全品質環境担当
常務執行役員	伊藤 峰夫	土木部門担当
常務執行役員	都甲 明彦	国際部門国際事業本部長
常務執行役員	北川 隆	土木部門担当
常務執行役員	中山 信也	建築部門都市開発本部長
常務執行役員	長富 理	中国支店長
常務執行役員	柳田 良一	東北支店長
常務執行役員	宮園 猛	建築部門担当(営業担当)
常務執行役員	下石 誠	九州支店長
常務執行役員	越智 修	東京土木支店長
常務執行役員	植田 和哉	土木部門土木営業本部副本部長(兼)2020事業室担当
執行役員	中澤 貴志	大阪支店長
執行役員	小林 義和	建築部門担当
執行役員	坪崎 裕幸	建築部門担当(技術担当)
執行役員	村山 正純	土木部門担当
※ 執行役員	中満 祐二	建築部門建築本部長(兼)安全品質環境担当
執行役員	岡田 富士夫	国際部門国際事業本部副本部長
執行役員	田原 良二	東京建築支店長
執行役員	野口 哲史	名古屋支店長
執行役員	蒔田 高之	安全品質環境本部長
執行役員	福田 幸司	土木部門担当
執行役員	福島 正浩	東京土木支店副支店長
執行役員	緒方 晴樹	土木部門担当

※印は取締役兼務者です。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催  
単元株式数 500株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のホームページ (<http://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

剰余金の配当の基準日 毎年3月31日  
証券コード 1893  
なお、中間配当制度は採用していません。

### 【単元未満株式の買取制度について】

単元未満株式とは、1単元（500株）に満たない1株から499株までの株式のことです。これらは株式市場で売買取ることができませんが、当社に対して買取請求をすることができます。

お手続き方法および用紙のご請求は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にお申し出ください。

#### ■（例）株主様が単元未満株式250株をご所有の場合



#### ■手数料の無料化について

従来、当社は単元未満株式の買取にあたり、株主様から一定の手数料をいただいておりますが、2009年1月より無料化いたしました。

### 【特別口座から一般口座への振替手続きについて】

特別口座に記録されている株式を株式市場で売却すること、および特別口座から株式市場を通じて新たに株式を購入することはできません。

株式を株式市場で売買するためには、特別口座から一般口座への振替手続きを行う必要があります。

お手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にご確認ください。

#### ■振替手続き手順



### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

#### 〈証券会社でお取引をされている株主様〉

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。

#### 〈特別口座に記録されている株主様〉

- 郵便物送付先  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
- 電話お問い合わせ先（フリーダイヤル）

# 0120-288-324

- お取扱店  
みずほ信託銀行株式会社  
全国本支店（トラストラウンジを除く）  
みずほ証券株式会社  
全国本支店・営業所（カスタマープラザを除く）

※未払配当金のお支払、支払明細発行につきましては、両株主様ともに上記の「特別口座に記録されている株主様」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

なお、未払配当金のお支払（配当金領収証をお持ちの場合）につきましては、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもご利用いただけます。

その先の向こうへ

GOING FURTHER



〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



グリーンプリンティング認定制度を  
取得している工場で印刷しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用  
して印刷しています。

